

《短報》

下関市におけるウミミズカメムシの分布

松田真紀子

豊田ホタルの里ミュージアム・サポーター会員, 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

はじめに

ウミミズカメムシ *Speovelia maritima* Esaki, 1929 は海蝕洞内の礫間や海岸の石の下などに生息する海岸性の半翅類である (長見, 1958; 林・宮本, 2005; 林, 2007). 本種は特異な環境に生息しているため, 一般的にはほとんど認識されておらず, 山口県からはこれまで記録がない.

本稿では山口県下関市において本種の生息を確認することができたので, その採集記録と生息地の環境概要を報告する.

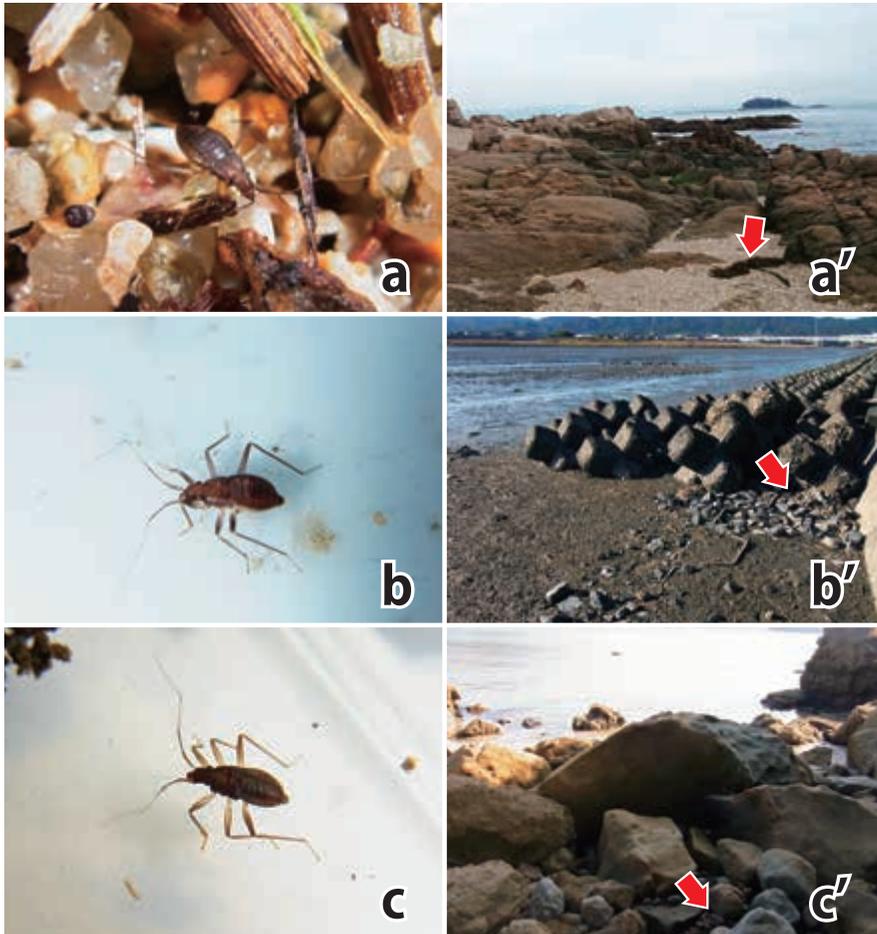


図1. 採集したウミミズカメムシの生態写真 (左) と各生息地の環境写真 (右)
a・a' . 長府宮崎町三軒屋海岸; b・b' . 白崎付近 (木屋川河口); c・c' . 豊北町神田
※矢印はウミミズカメムシがいた場所を示す.

採集記録と環境概要

以下に採集記録と各生息地の環境概要を記載した。採集記録は採集地，採集日 (yyyy-mm-dd)，採集数の順に示し，採集した場所の環境概要を最後に記載した。採集地はすべて山口県下関市なので省略し，採集者もすべて筆者なので省略した。標本は豊田ホテルの里ミュージアムに収蔵されている。

1. 長府宮崎町三軒屋海岸, 2014-VIII-23, 1♀ (図 1a) , 潮間帯の岩礁脇の砂上に打ち上げられた漂着物の中 (図 1a')
2. 白崎付近 (木屋川河口) , 2015-X-28, 1♀ (図 1b) , 満潮時には水没する河口干潟の防波堤脇のこぶし大の石の下 (図 1b')
3. 豊北町神田, 2015-XI-3, 1♀ (図 1c) , 飛沫帯の転石の下 (図 1c')

引用文献

- 林 成多 (2007) 島根半島におけるウミミズカメムシの生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 115-118.
- 長見和正 (1958) ウミミズカメムシの新産地. 新昆虫, **11**(2): 48-49.
- 林正美・宮本正一 (2005) 「日本産水生昆虫 - 科・属・種への検索 - (川合禎次・谷田一三 共編)」: 291-374p., 東海大学出版会, 東京.